

5

進化する腫瘍外科学

～ 肺癌、乳癌、食道癌における集学的治療の最前線 ～

広島大学腫瘍外科は、長い歴史と専門性に裏打ちされたがん診療の拠点として、患者さんと共に歩み、がんと闘ってきました。我々は、日々進化し続けるがん治療の最前線に立ち、最高水準の医療を提供し続けています。この公開講座では、肺がん、乳がん、食道がんにおける、外科治療だけではなく薬物療法も含めた最新の集学的治療について、また進化し続ける新たながん治療の今後の展望について解説します。

会場	対面： 広島大学 霞キャンパス 研究棟B 歯学部第6講義室 オンライン： -
時間	18:00～19:15
定員	対面： 50名 オンライン： -名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 5/8 (木) ※ 定員に達しなければ 6/2 (月) (必着) まで先着順で受付

最新の食道がん集学的治療 –ロボット手術から新たな薬物療法まで–

講師： 広島大学病院 消化器外科 講師 浜井 洋一

第1回

6/11 (水)

18:00～19:15

食道がんは進行癌で発見されることが多いため、治療が難しく、予後不良ながんの一つです。我々は食道がん患者さんの長期生存と治癒を目指して、手術、薬物療法、放射線治療を組み合わせた集学的な治療を行っています。これらの治療は進歩し続けており、より低侵襲で治療効果も高くなってきています。最先端の科学的な研究結果も踏まえて、最新の手術や薬物治療について解説します。

乳癌診療の最前線：最新のエビデンスが導く治療戦略と未来への展望

講師： 広島大学病院 乳腺外科（原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科）
講師 重松 英朗

第2回

6/18 (水)

18:00～19:15

乳がん治療は、近年の研究と技術の進歩により大きな変革を遂げています。本講座では、乳がん診療の最前線に立つ専門医が、最新のエビデンスに基づく治療戦略や個別化医療の進展についてわかりやすく解説します。さらに、治療の未来像や患者さんと医療従事者がともに目指す新たな展望についてもご紹介いたします。

肺がん手術の最新情報：

手術後も元気に過ごしていただくための、体に優しい縮小手術について

講師： 広島大学病院 呼吸器外科（原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科）
准教授 宮田 義浩

第3回

6/25 (水)

18:00~19:15

肺がんは早期発見により手術できる患者さんが増えています。しかし肺を切除することにより呼吸機能が下がりますので、肺がんは治っても体が弱ってしまう方が多くおられます。本講座では、肺がん手術後も元気で過ごしていただくための最新治療について、わかりやすくご紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

霞地区運営支援部総務グループ（原医研主担当）

電話： 082-257-5802

メール： kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp